



リハビリ便り

はじめに

1年でいけば寒さの厳しい時期、春の便りが待ち遠しいですね。皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は急性期病棟の話をししようと思います。

急性期病棟とは

急性期の患者さんは全身状態が安定せず、24時間集中的な治療や観察が必要な状態にあります。生命や呼吸・循環の維持には多種多様な機械やチューブ・点滴のサポートを要します。

早期退院を目指す為に、多職種が連携して定期的にカンファレンスを開催し、患者さんの治療方針や身体機能の回復までの予後予測についてなど、情報共有を行っています。



急性期リハビリテーションの目的

急性期リハビリテーションの目的は「**廃用症候群**」の防止・軽減にあり、発症前の状態まで回復させることではありません。そのため、長い時間寝た状態していると廃用症候群に陥ってしまいます。

廃用症候群とは、寝たきりによる**床ずれ**（褥瘡じよくそう）や**筋萎縮**（筋肉がやせてしまうこと）、**関節拘縮**（関節が硬く動きにくくなること）、**無気肺**（肺の機能が落ちて体内に必要な酸素が足りなくなる）などの合併症を指します。

急性期リハビリテーションでは食事や移動などの日常生活動作に関連する筋力増強運動や起立練習、嚥下訓練など患者さんの状態によって実施する内容を決定します。

退院に向けて

患者さんの病状が安定して、リハビリがさらに必要な場合には地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟に移り、退院に向けて集中的にリハビリを行います。その中で在宅復帰や施設入所に向けて医療ソーシャルワーカーなどが相談のり、関係各所と連絡を取り、安心して在宅療養ができるように支援していきます。

終わりに

当法人では入院から退院後のサポートを行ってまいります。不安や困りごとがありましたらお気軽にご連絡頂ければと思います。



（理学療法士・藤井美雄）

お知らせ

【ものわすれ外来】
月・水・金（午後）※要予約
担当医師：宮本 正史

下記までお気軽にご相談下さい。
★天心堂へつぎ病院★
電話：097-597-5777



【訪問リハビリテーション】

生活の場にセラピストが伺いリハビリを行います。在宅で実用的な生活動作訓練や、自宅環境の調整、生活内での運動の習慣付け、家族指導等行います。

問い合わせ先：リハビリテーション課（足立・安東）

電話：097-597-5777（代表）

ご不明な点など、まずはお気軽にご相談ください。または、担当のケアマネジャーなどへお問い合わせ下さい。